

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表) 【児童発達支援】

公表:令和6年 2月26日

事業所名:

保護者等数(児童数) 29家庭 回収数 23 割合 79 %

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	22	1	0	0	十分に確保されています	基準以上の空間を確保しています。今後も子どもたちが安心して思う存分活動できる空間を確保していきたいと思います。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	19	3	0	1		児童発達支援センターの基準以上の職員配置は行われています。今後も専門性を高め、子どもの発達支援に従事していきます。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	21	0	1	1		子どもの生活の導線に即し、子どもの主体性が促されるような環境設定を大事にしています。お気づきの点がありましたら、遠慮なくお知らせください。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	22	1	0	0		日常的・定期的に清掃・消毒を行っています。今後も衛生管理に努めていきたいと思っています。
適切な支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	23	0	0	0	子どもの発達に合わせた個別支援計画が作成されている	支援計画については、面談や保護者からの聞き取り等で得られたニーズや課題、子どもの状態を把握した上で、発達段階や発達要求等、客観的分析した上で支援計画を作成しています。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	20	1	1	1		子どもの支援に必要な生活とあそびにおいて、「食事」「排泄・着脱」「身体」「あそび・コミュニケーション」の4項目と「家族支援・地域支援」の項目を記載し、できるだけわかりやすく具体的な支援内容を心がけています。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	22	1	0	0	行われている	今後も児童発達支援管理責任者を中心に、計画に沿った支援がなされているか、確認や検討しながら取り組めます。
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	20	0	1	2	発達に合わせ工夫されている	今後も子どもの発達や実態、季節や年齢に即した活動プログラムの検討をしながら、実践を展開していきます。お気づきの点がありましたら、遠慮なくお知らせください。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	21	2	0	0		認可保育園が同一敷地内に隣接しており、園庭あそびを一緒にしたり、合同で行事(人形劇観劇やうたあそび会)や避難訓練を行っています。また、日常的に子どもたちが行き来し、小さな交流が生まれています。
保護者への 説明等	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	21	1	0	1		入園時に説明をしています。また、園内に掲示もしています。今後もわかりやすい説明を心がけ、気軽に質問もできるように努めます。
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	23	0	0	0		今後も活動のねらいや意図も含め、わかりやすく説明できるよう努めます。
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	22	1	0	0	先生方から声をかけてもらっている	個別面談や生活記録表でのやりとりなど、日常生活の中でのお気づきや子どもへの関わりや発達を保護者と共有することを大事にしています。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	22	0	1	0	降園時や生活記録表で伝えてもらっている	今後も細やかな変化に気付けるように、家庭生活の様子も把握し、また療育での様子も具体的にわかりやすく伝えることを心がけ、共通認識できるように努めていきます。ご不明な点がありましたら、いつでもご相談ください。
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	22	0	1	0		学期に1回の頻度で面談を行っています。また、毎日の生活記録表での育児への不安に対し、助言や支援をしていきます。定期的な面談以外にも必要であれば随時対応いたします。今後も丁寧に取り組んでいきたいと思っています。
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	20	0	1	2		親の会と連携しながら、楽しく交流したり、共に学び合う場を作っています。今年はグループごとの茶話会を実施しました。法人の家族会や県父母の会等へ参加できるよう保育を行う等、協力しています。
	16 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	22	0	1	0	迅速な対応をしている	登降園時や、電話、来所、連絡帳など、タイムリーに相談につながるよう努めています。お気づきの点がありましたら、遠慮なくお知らせください。今後も迅速かつ丁寧に対応できるように努めます。
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	22	1	0	0		今後もよりよい関係づくり、情報伝達のための配慮に努めていきます。
18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	20	3	0	0	行事予定のお知らせが少し遅い時がある	大きな行事は学期の初めにお知らせし、毎月のおたよりは翌月～翌々月の行事予定も記載し発行しています。自己評価の結果も公表しています。今後も必要な情報を早め早め公開していくように努めます。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
	19	個人情報の取扱いに十分注意されているか	21	0	1	1		個人情報の取扱いについて、これまでも十分に注意しておりましたが、再度職員間で確認し、取り扱いについてはさらに注意していきます。お気づきの点がありましたら、遠慮なくお知らせください。
非常時等の 対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	20	0	0	3		各マニュアルを作成し、各部屋へ掲示しています。全保護者へ周知できるように努めます。保育園と合同で防犯訓練を実施しています。今後もできるだけ様々な状況を想定した訓練を実施し、備えていきたいと考えています。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	20	0	0	3		法令に従って訓練を実施しています。訓練は毎月子どもと職員で行っています。親子グループは、子どもが不安にならないように配慮した上で実施しています。また、今年は、豪雨災害時の引き渡し訓練も実施しました。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	23	0	0	0	当園をとっても楽しみにしています	これからも子どもたちにとって、安心して自分を出せる場であり続けていけるように、また、子どもたちが発達の主人公となり、日々の生活を自分らしく送ることができるように、実践研究を重ねていきます。
	23	事業所の支援に満足しているか	23	0	0	0	満足しています	今後もりんくんの取組について、丁寧に伝えていくとともに、よりよい「発達支援」「家族支援」「地域支援」を目指していきます。今後もりんくんにに対する意見や要望を出していただけると嬉しいです。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所における自己評価結果(公表)

【児童発達支援】

公表：令和6年2月26日

事業所名：むぎのめ子ども発達支援センターりんく

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		クラスの部屋の広さは、各クラスの数に対する広さを法令基準以上に確保しています。活動内容に応じて、2階のプレイルームやプレイデッキ、園庭を活用しています。	
	2 職員の配置数は適切であるか	○		職員数においては、配置基準に従った職員を配置しています。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		各クラス、子どもの生活導線に即し、子どもの主体性が促されるような環境設定を大事にしています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		療育終了後に、各グループの部屋やトイレ、玩具等を療育終了後に毎日清掃・アルコール消毒を行っています。また、感染症対策として、オゾン発生器を各部屋に設置し、こまめな換気も行っていきます。季節の流行感染症の対策として、トイレ使用後の消毒を職員だけでなく、保護者へも周知するように努めています。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		全職員で課題を共有し、業務改善に向けての検討や情報共有に努めています。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		保護者向け評価表や意見箱、親の会との運営委員会での要望・意見、個別面談等での要望・意見をもとに業務改善に努めています。	今回の保護者向け評価表でいただいたご意見を基に、現状を分析し、業務改善へ努めます。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		毎年、保護者向けの評価表のご意見だけでなく、日々のやりとりや運営委員会でのご意見も踏まえ、業務改善に向けた話し合いを行っています。また、評価結果を法人ホームページにて公表しています。今後も自己評価の取り組みは丁寧に取り組んでいきます。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○		法人で定期的に行い、必要に応じて改善につなげています。また、市の実地指導や行政指導監査を受け、指摘事項等があった際は、改善に努めています。	
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		事業所内研修や法人研修、外部研修へ参加できるように、年間計画を立てて取り組んでいます。	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		保護者や相談支援専門員からの聞き取りや、発達評価等をもとにアセスメントを行い、分析・検討の上、支援計画を作成しています。	
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		KIDS、新版K式発達検査2001等、標準化されたアセスメントツール意を使用しています。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		個別支援計画策定会議を実施し、職員間で意見を出し合いながら、一人一人の子どもの姿に即した支援を検討しています。支援計画の中に、「発達支援(生活とあそびの4項目)」「家族支援」「地域支援」の項目を設定し、具体的な支援内容を計画し、できるだけわかりやすい目標・内容の作成に努めています。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		支援計画に沿って共通理解のもと支援を行っています。定期的にモニタリングを行い、支援計画に沿った支援が行われたか、振り返りを行っています。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		年間、月、週、当日、行事など、担当職員を中心にチームで療育内容や支援のあり方について検討しています。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		年間計画や毎月の活動計画において、療育内容を検討しており、季節や生活文化、子どもの実態に応じた療育内容の工夫を行っています。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○		基本的には集団活動をベースとした支援を行っています。また、集団療育の中に個々の課題に応じた支援(個別の活動)を取り入れており、支援計画を作成しています。	
17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		指導案を基に、当日の支援開始前に実践に入る職員間で事前にミーティングを行っています。参加できない職員に対しては申し送りを行っています。大きな方向性については、前日までに共通理解をしています。		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		降園後に、各グループごとにミーティングを行い、その日の活動の振り返りや子どもの様子の把握など共通理解に努めています。	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		日々の療育の様子について、毎日記録に残しています。子どもの実態、変化、具体的な支援、今後の課題につながる内容を記録するように心がけています。	
関係機関や保護者との連携関係	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		基本的に児童発達支援管理責任者が出席しています。ケースによっては担当職員も同席しています。	
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		地域のネットワーク会議に参加したり、地域の事業所を対象とした連携会議を開催しています。ケースに応じて、個別に関係機関等と連携のもと、支援を行っています。	
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○		該当なし	
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○		該当なし	
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		併行通園先の入園前の体験活動や、連携会議、日常の電話等での実態把握を通して、情報共有、相互理解を図っています。	
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		各学校との連携会議へ参加し、情報提供や支援の方向性についての相互理解を図っています。また、事前の体験活動や卒園後も必要に応じて訪問、連携会議を実施しています。	
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		研修会や公開療育などへ積極的に参加し、連携及び学びを深めたり、情報共有に努めています。	
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		認可保育園が併設されており、日常的に園庭を共有してのあそびや合同の行事(観劇会やうたあそび会)の開催など行っています。子どもたちは日常的に行き来しています。	
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		会議の知らせがあれば、参加できるように努めています。今年度は、自立支援協議会子ども部会や保健センターの連携会議へ参加しました。	
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		日々の連絡帳や活動後の引継ぎの際に、療育の様子や支援の内容について伝えていきます。保護者との連携のもと、生活記録表を通して家庭の様子や子どもの変化をタイムリーに把握し、支援につなげるように努めています。	
31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っているか	○		日常的な相談のやりとりや親子療育活動、相談時に具体的な関わり方を通して、保護者との共通理解を図っています。他にも、親の会活動、法人家族会活動もあり、よりよいつながりがあります。		
保護者への説明責任等	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		体験時や契約時に、療育で大切にしていることや活動内容、療育利用料等についてわかりやすく説明できるように努めています。また、不明な点があった際には、その都度確認・返答するようにしています。	
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		保護者に、支援内容・支援計画についての説明と共有を行う時間を設定し、保護者からの同意を得た上で支援を行っています。	
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		定期的な面談以外にも、電話や来所による相談など随時対応できるようにし、タイムリーに解決ができるように努めています。また、月2回保健師による個別相談の時間を設けています。	
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		親の会と連携しながら、楽しく交流したり共に学び合う場をつくっています。法人の家族会や県の父母の会への参加もその時間、子どもの保育をするなど協力しています。	
	36 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		相談や申し入れは迅速に対応できるように体制をつくっています。苦情相談窓口や体制については、契約時に説明を行い、事業所内に掲示しています。	
37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		毎月りんくのお便りを発行しています。わかりやすい内容づくりに努め、月ごとの活動内容や行事予定など、その都度お知らせしています。		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	38 個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		関係機関とのケース会議等個人情報の取扱いについて、契約時に説明を行っています。個人情報について具体的な場面でどのように対応するかを職員間での共有を徹底できるよう努めています。	個人情報の取扱いや保護者との共通理解、相談の対応等については、職員間での再確認と検討を行い、改善に努めていきます。
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		それぞれのお子さんの実態から必要な支援(具体物など視覚的な支援も含め)を行い、専門職のアドバイスも受けながら、手立てを工夫しています。	
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		法人で行う行事(フェスタ等)には、地域住民の方に参加いただいています。また、学生ボランティアや実習生の受け入れも積極的に行っています。	
非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		各種マニュアルを作成し、職員間で共有しています。また、いつでも手に取って読めるように掲示しています。	
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		毎月1回地震や火災を想定した避難訓練と消火訓練を実施しています。また、年に1回消防署立ち合いのもと、隣接の保育園と合同避難訓練を実施しています。	
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		契約時に服薬状況や病歴など書面で確認しています。りょうりょう行く中に服薬が必要な際は、保護者と飲ませ方や注意点を確認し、服薬を行っています。予防接種は年2回の園内健診で確認し、てんかんや発作のあるお子さんは必要に応じて医療と連携し緊急時の対応ができるようにしています。	
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		契約時に食物アレルギーの確認を行っています。アレルギーのあるお子さんの場合は、医師の診断に基づき、保護者と栄養士と話し合い、対応しています。	
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		朝のミーティング時や降園後のミーティング、毎月の職員会議の中で、ヒヤリハット事例について話し合っています。ヒヤリハット事例が発生した際は、報告書を作成し全職員で閲覧し、いつでも確認できるようにファイリングしています。	
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		法人の虐待・身体拘束委員会による研修会への参加や、事業所内でも虐待防止について学び合う機会を設けています。人権についての学習も定期的に行っています。	
47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか		○	本事業所として身体拘束を行うことは現状としてありませんが、法人の虐待・身体拘束委員会による研修会への参加や、事業所内での研修、どのような場合に身体拘束が必要になるかなど職員間で学び合いを通して理解を深めています。	今後やむを得ず身体拘束が必要になった場合には、検討を行った上で児童発達支援計画に記載し、保護者の了解を得て支援を行っていきます。	

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

○ 「はい」、「いいえ」の欄は、数を記入するのではなく、職員による自己評価結果を踏まえ、職員全員で討議した結果について回答すること。(該当する方に○を記入)